まちかど図書館ぼたん

ぼたんだより

2025 1
Vol. 2

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。昨年9月に「まちかど図書館ぼたん」がオープンし、昨年中に22名の方に、本棚オーナーにご登録していただきました。私たちの活動に共鳴してくださり、オーナーになってくださった方々や、毎日のように足を運んでくださる方々がいらっしゃることに心より感謝申し上げます。本年も、より一層皆様にとって心地よい場所となりますよう尽力していきたいと思います。長野市駅前中心市街地に賑わいをもたらすことができるよう、皆様にいろいろと教えて頂きたいと思います。今年一年何卒宜しくお願い申し上げます。

Topic 01 オーナーさん座談会、開催しました！

多彩な人たちが参加　2024年12月15日(日）に、本棚オーナー様の座談会をまちかど図書館ぼたんにて開催いたしました。開館して約3か月が経ち、どのような思いでオーナー様になってくださったのかなど、私達ゼミ生もオーナー様にお聞きしたいことがたくさんありました。お店番をするなかで「オーナーさん同士で交流したい」、「オーナーさんについて知りたい」という声をたくさん頂き、第一回イベントとして、オーナー様座談会を開催させて頂きました。コミュニティ班の徳竹・山本が司会を務めました。当日は、内田様、青木様、「ゆる〜いおっさんの会」（団体でオーナー様登録）の佐々木様・藤澤様の4人のオーナー様、兵庫県豊岡市のみんとしょ「だいかい文庫」にも行かれ、市内栗田で医療系場づくりをされ、読書会もされている方、東京神保町で本棚オーナー制度の本屋に行かれ、本によるまちづくりに関心を持たれたという長野市職員の方、「これからの図書館」を研究をしている高校二年生、遅れて参加された、バリアフリー絵本の研究と普及に尽力されている日本国際児童図書評議会バリアフリー絵本展実行委員長の攪上先生と文化人類学者で信州大学名誉教授の阿久津先生、TMOまちづくり長野の宮島さん、長野市都市整備部まちづくり課職員長崎さん、築山ゼミ学生4名、教授の計16名が参加しました。

本と共に生きる半生　まず、内田様が、「本とどのように付き合ってきたか」という丁寧なレジュメを基にお話し下さった。転機となった中学3年の読書感想文、友人から進められたカミュ・カフカ・大江健三郎。必要に迫られ読んだ労働組合運動文献。小説を読む一方で、世の中の動きを知るには読書が不可欠と新書を読んだ。やがて本屋（長野市中央通りにあった旧わかな書房）さんと仲良くなり、ツケで本を買えるまでに。本は、人生において困難に当たった時にいつも自分を助けてくれた。惜しみなく本を買った。同じ本を繰り返し読むと、年を重ねるにつれ、感動する部分が違ってきた。若い皆さんに是非本を読んでもらいたい。さらに、学生諸君にその実態を知って頂きたいと川人博著『過労自殺』（岩波新書、2014年）の資料を何部も作って来て頂き、座談会後に残った人たちと一緒に声に出して、読み合わせた。声に出して本を読むことが心地よい。

人生を変えた一冊　藤澤様は、この地域で育ち、山王小学校ご出身。50数年前、当時ここは長野市中心市街地として大変栄えていて、商店もたくさんあった。小学校一学年150名ほどいたが、現在、同窓会をやろ、うとしても、皆この地域から出てしまい、おそらく一人も残っていない。ご自身も郊外に出られた。当時の賑わいはなく、空き家・空き店舗も増えた。最近少しずつお店も出来てきたなかで、この図書館のことを知り、空洞化した地域を活性化してくれるのではと期待する。一冊の本が人生を変えた。定年退職した男性の悲哀を描いた内館牧子著『終わった人』（講談社、2015年）を読んで衝撃を受けた。そのような人々を繋げる仕組をつくりたいと思い、早期退職し、現在の団体を立ち上げた。愛読書は、山本周五郎や司馬遼太郎などの時代小説、サラリーマン時代の通勤では必ず時代小説を読んだ。こちらは一冊と挙げられない程どれもいい。

本に励まされて生きる　青木様は、小学生の頃はプラモデルに夢中で、読んでいたのは模型作りの手引書ばかり。転機は高校三年の時、仏文学者桑原武夫『文学入門』（岩波新書）。今はない長谷川書店で買った。現在、私にとっての読書は三つ。一つは純粋な楽しみとしての読書。もう一つは人生の書。生きる指針になる本。三つめは、歴史の本。特に古代史が大好きで読んでいる。人生の書で一冊だけ挙げるならば、デール・カーネギー『道は開ける』（1948年）。何か苦しいことがあるとこの本を読み、本に励まされて生きている。常に枕元に置いている。自分は翻訳では読まず、全て原書で読んでいる。カーネギーの本には本を読んで出会った。ある本に引用されていて、人生の書に行き着いた。英語学習の秘訣はと学生から質問させて頂き、英語を習得したいという明確な問題意識であるという回答を頂く。Necessity is the mother of inventionなのである。

オーナー様からのご質問　オーナー様から私たち学生に「なぜ、長野県立大学に進学したのか」という逆質問も頂いた。地元の地域活性化を高校時代から実践していたり、地元の公務員を目指したり、県外から来ている学生は、公立大経営分野で志望など。同時に、グローバル志向を持っている点。まちづくりに関心があり、フィールドワークをしているゼミを選び、大先輩の皆様から、今いろんなことを学ぶ機会を得てとても嬉しいです。これからも懲りずにいろいろと教えて頂きたいです。

長野市中心市街地のまちづくり　私たちから、長野市の中心市街地のまちづくりについてお聞きしたところ、中心市街地に来るには、自動車がないと難しい。駐車場代もかかる。バスは、土日は減便となり不便。早くに終わってしまう。長野市駅前には、スーパーなどの消費をする場所がない。駅前には、今たくさんのインバウンド客が来られているが、観光客の動線と地元民の動線が交わっておらず、せっかく多くの方と交流ができる機会なのに、それを活かすことができずに残念である。1970年代の長野はとても賑やかで活気があった。みんなが意見が言える場所が必要。そういう意味では、今回のように、まちのことについて語ることができる「まちかど図書館ぼたん」は素晴らしい。ゼミの皆さんには感謝しているし、期待している。地道に皆さんと一緒に知恵を出して考えていきたい。昔は本屋さんとか映画館とか、立ち寄れる場所がたくさんあった。今は、そういう場所がなくなってしまった。この「まちかど図書館ぼたん」を長く続けて頂くことが大事など、私たちを元気づける温かい言葉を頂いた。責任の重さを感じる。

今回、地域コミュニティ班が主体となり、初めてのイベント開催に対し不安を感じていた部分もありましたが、イベントを通してまちかど図書館ぼたんがみなさまに受け入れてもらえていることが嬉しく、なんとか成功させられて良かったとほっとしています。皆様のお話から、本と本屋さんが繋がっていることを実感しました。そんな本と図書館、そして、"人と人が繋がれる図書館"を作っていくために、図書館の運営、定期的なイベントの開催、このニュースレターの発行など、励んでいきたいと思います。

Topic 02　オーナー様エッセイ　No．1

今月号から、本棚オーナー様にまちかど図書館ぼたんに対する思いについてご寄稿いただき、ニュースレターに掲載させていただくことになりました！初回は、青木一男さんのエッセイを載せさせていただきます。

「まちかど図書館」に思う

青木一男

「まちかど図書館」のオーナーになれて嬉しく思います。この企画を初めて知ったのは去年「トマト館」へ買い物に行った際、ふと目にした赤い配色のチラシでした。その時はそれで終わってしまったのですが、昨年九月に「週刊ながの」に掲載された「一箱本棚オーナー制度の私設図書館に」という記事を読み、興味をそそられたのです。そこには運営主体の築山教授と学生の山本さんの写真が載っており、図書館設立の趣旨が分かりました。運営の主体が築山ゼミの学生さんとのことなので、若い人たちの活動を応援しようと入会を決めました。さっそく十月に図書館を訪ねて一区画を契約したのです。

現在はその棚に英語の本を置かせてもらっていますが、それらの本の選択には個人的な理由があります。話せば長くなるので、又の機会に書きたいと思います。小学生の頃までは、プラモデル作りに熱中していたので読書には縁がありませんでしたが、高校へ入学後あるきっかけがあって本を本格的に読むようになりました。この辺のいきさつも次の機会があれば書いてみたい気がします。

オーナーになってから、他の賛同者の方々が置いている本を何冊も借りて読んでいます。「まちかど図書館」を今後も応援していきたいと思っています。

Topic 03　第二回イベントの告知：１月２６日（日）石井翠さん「これからの図書館」

第二回のイベントを1月26日に開催します！今回は、市立長野高校２年生の学生石井翠さんに「まちかど図書館ぼたん」にもフィールドワークに来られて、高校で発表をされておられて、その内容について、「まちかど図書館ぼたん」でも研究報告をして頂くことになりました。

報告者：石井翠さん（長野市立長野高等高校２年生）
開催日時：1月26日（日）13：00〜15：00
報告テーマ：「これからの図書館」
開催場所：まちかど図書館ぼたん

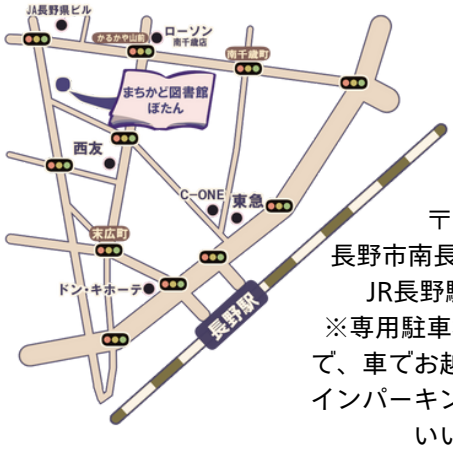
Topic 04　開館時間について

ホームページ　Instagram

開館時間は10時から18時までですが、ゼミ生と教員が店番をしている関係で、その時間内で、可能な時間に開館しております。詳細はホームページまたはInstagramで確認をお願いいたします。

URL:https://machinakabotan.com/www.machinakabotan.com/

Topic 05　アクセス



〒380-0826
長野市南長野北石堂町1185-6
JR長野駅から徒歩7分、
※専用駐車場はございませんので、車でお越しの際はお近くのコインパーキングへのご駐車をお願いいたします。

つながる・広がる・本コミュニティ！
まちかど図書館
ぼたん

２０２５年１月２１日発行
編集：長野県立大学　グローバルマネジメント学部　築山ゼミナール

住所：〒380-8525　長野市三輪8－49－7　B309研究室
TEL：026－217－2241（代表）　fax：026-235-0026
E-mail：tsukiyama.hideo@u-nagano.ac.jp